

CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

8

2022
vol.547



今月の
コーヒー

8月のおすすめ

バリアラビカ 神山

インドネシア



芳醇な香りと深いコク、マイルドな甘みのバランス

バリ島の活火山、バツール山の高原で無農薬栽培された原種の一つであるティピカ種の樹は、朝露に濡れた白いコーヒーの花が香りを漂わせ輝いています。収穫の時期を迎えた実を一粒一粒摘んで、天日乾燥させ、さらに大きい豆だけを厳選し出荷されます。

コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2022年
8月版

民間企業も参加へ

国際コーヒー機関が 60年振りに協定を改定



国際コーヒー機関ICO (International Coffee Organization) は、より幅広い関係者の参加を求めるという観点から国際コーヒー協定を60年振りに改定すると発表しました。協定の改定は、1962年に国連へコーヒーの輸出割り当て制度を提案、導入して以来です。

国際コーヒー協定2022では画期的な改定が行われています。改定の骨子として、従来の75カ国のコーヒー生産国と輸入国に新たに民間企業を加え、グローバルなコーヒー問題を解決する組織形態に変えていくと発表しています。

今回の改定の主旨は、世界中でコーヒー産業に従事する生産者からバリスタまで、何千万人にも及ぶ人々に生計手段を提供することで、年間3,000億ドルを超える産業へ発展させるべく改善方針を示すことであるとしています。

現在、世界のコーヒー生産量の93%と消費の63%を占める加盟国政府と民間企業がタッグを組んで、山積する課題を解決すべく仕組みがようやくできたとと言えるでしょう。今後の具体的な活動が期待されます。

ファーウェイがコーヒー市場に進出?

『1杯のコーヒーが 宇宙のエネルギーを吸収する』



中国の深圳を本社におく世界的な通信機器メーカーであるファーウェイは、企業スローガン『一杯のコーヒーが宇宙のエネルギーを吸収する』の商標登録を申請しました。

この動きに対し、一部の業界関係者は「ファーウェイがコーヒー業界に進出する可能性は否定できない。また『一杯のコーヒーが宇宙のエネルギーを吸収する』というスローガンをブランドにすれば、独自のブランドとしても、またスローガンに含まれる深い意味合いという点でも、最も適切であることは確か」と話しています。

ファーウェイがコーヒーを手掛ければ「香り豊かなテクノロジーが特徴となり、他社との差別化が実現しやすいだろう」といった見方も出ています。

どうなるコーヒー政策?

コロンビアに左派政権が誕生



コーヒー生産量世界第3位、マイルドアラビカの雄と呼ばれるコロンビアで、左派政権が誕生しました。6月に実施された大統領選挙の決選投票で、左派のグスタボ・ペトロ元ボゴタ市長(62)が勝利。歴代の右派政権が重視してきた、開放的な経済政策や親米路線を修正する可能性があり、中でも主要輸出品目であるコーヒーに対する政策の変更が注目されています。

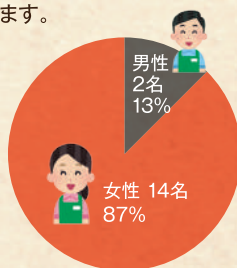
ブラジルの減産、ロシア・ウクライナ戦争の長期化が懸念される中、コーヒー市況は高原相場をたどっており、更なる高騰は是が非でも避けてほしいところです。今回の政変以外にも、21年のペルー、22年のチリ、更には10月のブラジル選挙ではルナ元大統領の返り咲きが現実視されています。新型コロナが格差や貧困問題を悪化させ、左派政権が生まれ易い環境にあります。左派ペトロ政権の誕生は、一杯のコーヒーに大きな影響を与えるだけに目が離せません。

(会長 服部卓也)

直営店の運営は、女性の活躍あってこそ！

直営店では性別、年齢、国籍などの違いを超えてお互いを認め合い、一緒に仕事をできるご縁を大切にしています。また、働くスタッフにとって働きがいや自身の成長を実感できるような職場環境づくりに努めています。現在、直営16店舗中14店舗が女性店長です。彼女たちはスタッフのやる気・能力を引き出し、温かくお店をまとめて引っ張る、まさに“頼れるお母さん”的な存在です。店舗運営に責任を持ち、お客様の心地よさを創造する役割として活躍しています。

メニュー開発や販促企画、コーヒーコンシェルジュ（社内資格）の運営などについても、店舗の現場を熟知した女性スタッフ主導で進めています。“お客さまの喜び”と“スタッフのやりがい”の両立を目指し、活発な議論をしています。また産休・育休制度を準備し、休暇取得後に職場復帰し、新しい生活環境に合った働き方ができるようサポートしています。これからも従業員がイキイキと働ける職場環境を整えてまいります。



直営店店長 男女比率

CCSがお届けする今月のニュース

新ホームページがオープン！ 「COFFEE FACTORY by シーシーエスコーヒー」

コーヒーやパッケージにこだわり、お客様オリジナルのコーヒーを小ロットで作れるサービス「COFFEE FACTORY by シーシーエスコーヒー」をオープンしました。当サイトでは、“オリジナルブレンドコーヒーをオリジナルパッケージデザインで”をキャッチコピーに、「世界に1つだけのオリジナルコーヒー」が作れるOEMサービスを提供しています。製作できる商品は今話題の「ドリップコーヒー」、定番の「缶入りレギュラーコーヒー（豆・粉）」、夏用の「クラフトボトルコーヒー」（準備中）の3種類です。SDGsに関連の深い「フェアトレードコーヒー」や女性に人気の「カフェインレスコーヒー」も選択可能です。ノベルティなどの法人でのご利用はもちろん、結婚式の引き出物やお祝いのプレゼント、記念品にご活用いただけます。



ぜひ一度ご覧ください！

ポップでかわいらしいHPです。QRコードまたは下記URLよりご覧ください。
<https://coffeefactory.one/>



秋ブレンド「熟」 ドリップバッグも発売開始！

お店で提供するコーヒーにも、季節感を演出してみたいかがでしょうか？ 豊かな実りの季節“秋”をイメージした「秋ブレンド「熟」」は、豊かで深みのあるコクと芳醇でまろやかな苦味が特徴です。四季ブレンドの中でも人気が高く、お客様に好評いただいております。

秋季限定コーヒー「熟」

袋タイプ 内容量:200g(豆)
ドリップバッグタイプ 内容量:10g(粉)
販売期間:2022年9月1日～11月末
納品可能期間:2022年8月中旬～11月中旬
※試飲用として40gをご用意しています。
※詳しくは営業担当までお尋ねください。



ニュー レトロブーム 懐かしの喫茶メニューをアピール！

クリームソーダ、鉄板ナポリタン、プリンアラモード、ホットケーキ、パフェ。喫茶店の定番メニューが今、Z世代の若者たちに人気です。Z世代とは1996年～2010年ごろに生まれた世代のこと（現在12歳～26歳）。生まれたときからインターネット、スマートフォンが存在し、SNSと共に育ってきたことからデジタルネイティブとも呼ばれています。

デジタルの対極はアナログ。彼らはデジタルな世界で育ってきたが故に、アナログの「不完全さ」に楽しさ、温かみ、かわいらしさを感じているようです。昭和世代にとっては懐かしいものも、知らない彼らにとっては新しいもの。親世代から聞いた話にも親近感が湧き、“知らないのどこか懐かしい”と惹かれるようです。それがSNSを通じて共感の輪が生まれ、現在のレトロブームを巻き起こしています。レトロであるが新しいという意味で「ニュー レトロ」という言葉もできました。

今こそ、開店以来温めてきた「懐かしくも新しい喫茶メニュー」をアピールしてはいかがでしょうか？ 自慢のメニューの写真を撮り、入口付近に貼ることで十分アピールになります。特に本記事冒頭のメニューが人気です。新たな常連客獲得に向け、試してみてください！



～ 話題のレトロメニュー ～

新商品 & おすすめコーヒーツールのご紹介

社内のコーヒー器具提案会に関心の高かったおすすめコーヒーツールをご紹介します。

ダブルメッシュで
クリアな味わい

HARIO ハリオール・7



プレス式はコーヒーの旨味成分であるコーヒーオイルも抽出できることから、コーヒー豆の個性をより愉しむことができます。しかしながら、微粉がどうしても残るため、後味のざらつきが気になるという課題がありました。本商品はフィルタが2枚重ねになっているため、微粉が出にくくプレス式ながら滑らかな味わいを愉しめます。コーヒーはもちろん、紅茶も抽出できます。サイズは300ml(2杯用)、600ml(4杯用)の2種類。ダブルメッシュのオールステンレス製プレス式コーヒーメーカーです。

新メニューのアイデアにどうぞ!

直営店のイチオシメニュー

ちょっとしたご褒美、
そんな贅沢



みたらし団子 アイス添え

キャラメルにも似たこっくりとした味わいの
甘辛い醤油と濃厚バニラアイスの組み合わせ。

単品 ¥270(税込) 詳しくは営業担当へお問い合わせください。

美味しい
コーヒーの店
2022
認定店

喫茶店探訪

CCSコーヒーを扱うお店を訪ねて



三重県
四日市市

農場カフェレストラン

SaRaRa

農場直送食材にこだわるカフェ

「土のいのちを人のいのちへ」をコンセプトに、伊賀の里モクモク手作りファームが運営するカフェレストラン。2019年11月、イオンタウン四日市泊のリニューアルにあわせて、オープンした新しいお店だ。体に優しいものを食べてほしいとの思いから、農場や工房から届く自慢の食材を使用する。木調の落ちついたカフェで、たっぷりの野菜やモクモクのハム、ソーセージなどをつかったメニューを味わい、ゆっくりと過ごすことができる。ランチセットが人気で、なんと10種類のプレートから選択することができる。コーヒー/紅茶/カフェラテが付く。その他、季節の食材を使用したデザートが好評だ。四日市方面へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



おすすめメニュー

ランチタイム 11:00~15:00
ランチセット(前菜・お惣菜+メイン+ドリンク)..¥1,520
カフェタイム(15:00~LO21:00)
ブレンドコーヒー.....¥380
パンケーキ各種.....¥1,050~
パフェ各種.....¥660~
ディナータイム(17:00~LO21:00)

農場カフェレストランSaRaRa

三重県四日市市泊小柳町4-5-1

イオンタウン四日市泊1階

(四日市あすなろ鉄道 泊駅から徒歩5分)

tel.059-327-5225

営業時間...10:00~22:00

定休日.....無

席数.....56席

駐車場.....イオン駐車場



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

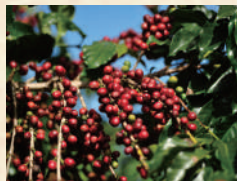
9月のおすすめ

セルトン農園100年樹 ナチュラル —— ブラジル



樹齢100年の透明感のある滋味深い味わい

セルトン農園は、100年以上の長い歴史を持つ農園です。一般的にコーヒーの木は10～15年で植え替えられますが、今回のコーヒーは1912年に植えられた樹齢100年以上の木から収穫された、年間生産量100袋の非常に希少なものです。農園主のナザレス氏（現在93歳）が子供の頃には既に植えられていたそうです。「100年樹 ナチュラル」は優しく、柔らかく、ふくよかで、ふわりと包み込むような味わいと透明感が特徴です。樹齢100年だからこそ持つ滋味深い味わいを是非お楽しみください。



抽出方法 ペーパー サイフォン ネル

詳しくは営業担当までお問い合わせください。

CCS
70周年
企画

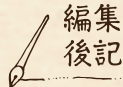
ボン・ボヤージュ

コーヒー新時代を目指して -32-

私が訪問した1973年当時、中米の小国（九州の半分程）エル・サルバドルはブラジル、コロンビアに次いでコーヒー生産量世界第3位を誇っていた。標高700mの首都サン・サルバドルの東方サンタ・クララのある「エル・サルバドル国立コーヒー研究所（ISIC）」は、ブラジル、コロンビアのコーヒー研究所に勝るとも劣らない立派な研究所であった。コーヒーの病、虫害、育種、土壌等、コーヒーに関するあらゆる分野をカバーする研究機関であり、ここでも若き研究員が熱く語ってくれた。日本でもブレンドの一角を占めるほど、'まろやかなコクと柔らかな味'が特徴であるエル・サルバドル・コーヒーは世界一のコーヒーである'と。

しかしながら、こうした平和な日々は東西陣営の激突という世界的潮流の中で終止符を打たれた。1978年5月には日本からの進出企業の法人社長が左翼ゲリラによって誘拐され、10月には殺害されるという悲劇が発生した。以来、軍事クーデターも勃発し、東西陣営が入り乱れ1992年に和平が訪れるまで15年の長期にわたって内戦が続いた。その為、国土は荒廃に晒され、コーヒー生産は全盛期の1/10の水準まで落ち込んだままの状態が今日まで続き、世界におけるエル・サルバドルの名声は忘却の彼方に行ったままである。

（会長 服部卓也）



蝉の鳴く声が本格的に夏が来たなと思わせます。今年の夏は特に暑いですね。私には甥が二人いますが、子どもたちは暑さを感じていないのか常に全力で外遊びをしています。子どものエネルギーはすごいなと感心すると同時に熱中症も心配です。外と建物内の温度差もあり体調管理が難しい時季ですが、皆様もお体に気をつけてお過ごしください。